



とうえい

令和5年7月13日

東栄小学校

学校だより第4号

一回り大きく成長した！～林間学校～

降りしきる蝉の声に夏の盛りを感じる季節になりました。

子どもたちが考えた「それ行け！Enjoy！かっとなせ！ぼくらのスペシャル林間学校～FIGHT～」というスローガンのもと、5年生が6月22日（木）から23日（金）の2日間、山の緑に包まれ、新鮮な空気を胸いっぱい



いに吸い込み、大いに楽しんだ郡上八幡自然園での林間学校に行ってきました。「FIGHT」には深い思いが込められています。FはFriendship（友情）、IはIdea（アイデアを出し合う）、GはGood、（良い思い出）、HはHope（希望をもつ）、TはTeamwork（チームワークを大切に）です。各グループごとによるわくわくドキドキしながらの郡上八幡市内の散策、歌って踊って大いに盛り上がり、5年生のパワーが炸裂したキャンプファイヤー、寝食を共にして友達の新たな面を発見することができたバンガローでの生活は、自然の中で過ごす爽快さや仲間と協力することの大切さなど、多くのことを子どもたちは感じることができたと思います。また、体験活動では、川遊びや火起こし、食品サンプル作り、魚つかみ、うどん作り、五平餅作りに挑戦し、思い切り楽しんでいました。主体的かつアクティブに取り組んだ子どもたちの表情は満足感にあふれていました。

林間学校は単なる思い出作りではなく、大自然の中に飛び込み、その厳しさや美しさに触れ、周囲の人たちと助け合いながら過ごしたことは、子どもたち一人一人にとって「やればできる！」という大きな自信につながり、人として一回り大きく成長できたと思います。子どもたちの中には、普段の学校生活では分からない友達のよさに気付くこともできたようです。スローガンのようにみんなでやり遂げた達成感を心の支えにして、2学期以降の行事でも心をつなげて、取り組んでほしいと思います。

さて、7月21日（金）から42日間の夏休みに入ります。夏休みは、子どもたちが自由に使える時間がたっぷりあります。学校では体験できないことに挑戦する絶好のチャンスです。しかし、時間というものは少し油断するとどんどん過ぎていってしまいます。計画的に過ごさないとせっかくのチャンスも逃げていってしまいます。是非とも計画的な生活を送り、充実した夏休みを過ごしてほしいと願っています。

～ちょっといい話 その4～



毎日、自分のそうじ箇所をきれいにするのはもちろんのこと、壁や廊下の黒ずみ、手洗い場のよごれ、トイレのスリッパなど、ピカピカになるまで、とことん磨いています。素敵な子どもたちです。

（校長 井田 寿）